

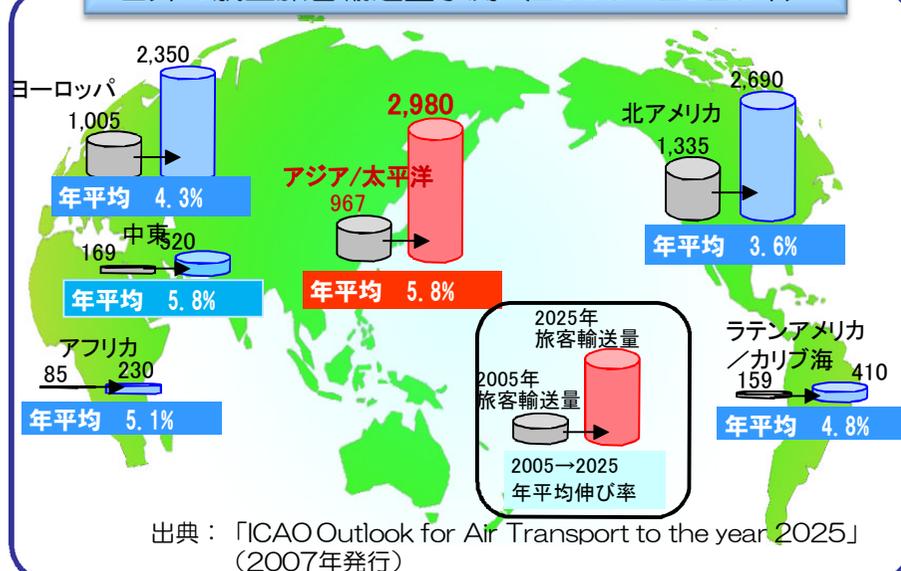
資料2-3

航空管制システム等の海外展開推進について

航空管制システム等の海外展開の推進

- 本邦企業による航空管制システム等の海外展開を、国が積極的に支援・推進

世界の航空旅客輸送量予測（2005～2025年）



- ➔ 航空交通システムは国際航空輸送における重要な基盤であり、将来の需要増大への対応が必要不可欠
- ➔ ICAOは、今後10年で、航空交通システムの変革に1200億ドル(9.84兆円:1ドル82円換算)が世界的に費やされると試算

航空管制システム等の海外展開推進検討会の開催

参加者

民間企業：航空管制システム等メーカー、商社、コンサルタント、シンクタンク等（計17社）
 関係団体：国際協力機構、電子航法研究所
 国交省：省内関係者

開催経緯

- 第1回検討会（2012年1月11日）
- 第2回検討会（2012年2月27日）
- 第3回検討会（2012年4月11日）
- 第4回検討会（2012年5月10日）



- ➔ 国内関係者による協力体制を確立
- ➔ 海外展開推進方策の骨子を策定

海外展開推進方策の骨子の概要

- 国のリーダーシップによる海外展開の推進(官民協議会の設置、情報収集・共有体制の確立等)
- 官民で連携した市場調査の実施、重点地域の策定
- 官民一体となった営業等活動の推進(海外他国での官民セミナー等の開催、国内施設見学のアレンジ等)
- 国内関係者の連携強化による川上からの案件形成・獲得
- **ソフトインフラ**(運営ノウハウ等)との**パッケージ化**等
- 国で保有している著作権の許諾に関する検討
- 海外展開に資する国の政策の推進

ASEAN諸国への技術支援、日本における研修

航空局では、ASEAN諸国に対し職員を長期派遣するなど、継続的に技術支援(JICA技術協力プロジェクト)を行うとともに、日本における研修を実施している

東部メコン地域

(カンボジア・ラオス・ベトナム)



2011.1～2016.1 技術協力プロジェクト

「次世代航空保安システムへの移行にかかる能力開発プロジェクト」

現在、長期専門家2名(航空管制職種、航空管制技術職種)が業務を実施中

インドネシア



2010.7～2015.7 技術協力プロジェクト

「航空安全政策向上プロジェクト」

現在、長期専門家3名(航空管制職種OB、航空管制技術職種OB、運用職種(安全分野担当))が業務を実施中

日本における研修



2011～2013年度 飛行方式(RNAV)経路設計研修を航空保安大で実施(JICAスキーム)

フィリピン



2008～2013年 有償資金協力

「次世代航空保安システム整備事業」

2009.2～2014.2 技術協力プロジェクト

「航空航法システム安全性・効率性向上プロジェクト」

現在、長期専門家1名(航空管制技術職種)が業務を実施中

← →
日－東南アジア間の
主要交通流